

神木もスッキリ、6年ぶりの剪定作業



國造神社境内のケヤキの神木や公孫樹など樹木の枝打ちが10月2日から野々与造園の協力で始まり、氏子総代が総がかりで剪定した枝をトラックに積み込む作業に汗を流しました。うっそうと葉を繁らせた立木も6年ぶりにスッキリとし、境内も明るくなり、正面の鳥居からも荘厳な千鳥破風と唐破風を備えた入母屋造りの拝殿屋根が恰好良く見えるようになりました。虫食いで空洞になっていた杉の大木も伐採され、境内の安全と美観保持に努めました。

秋祭り賑わう 9月21日から3日間行われた國造神社の秋季祭は最終日の23日には念

願の泉獅子舞の奉納がお目見えしたこともあって多くの人で賑わい、秋祭りでは4年ぶりに神饌料奉納者が250人を超えました。境内には屋台3台も並び、子供たちを喜ばせ、「お祭りにはやっぱり屋台だね」と、かつての祭の賑わいを知る年配者を懐かしがらせ地域の



の活性化の兆しに期待を膨らませました。

